

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	障害者福祉施設整備補助				事業番号	011-133	
担当部署名	健康福祉局	局	障害福祉部	部	障害支援課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5)障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現		
			有	取組の方向性	②障害者の暮らしの場の確保				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2	
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	第5次堺市障害者計画・第7期堺市障害福祉計画・第3期堺市障害児福祉計画		
3	事業開始年度	平成 9 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	社会福祉施設等施設整備費国庫補助金交付要綱、堺市社会福祉施設等施設整備費補助金交付要綱 堺市障害者グループホーム整備促進事業補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	堺市内でグループホーム等を整備する社会福祉法人、NPO法人、営利法人等				対象数	単位
						-	-
7	事業の目的	グループホームの整備を促進することにより、障害者の地域生活への移行と生活基盤の確保を図るため、国庫補助による施設整備に併せて、整備加算や初度設備に対し補助を行う。また、既存施設において大規模修繕を進めることにより、施設利用者の安全の確保を図る。					
8	事業内容	① 社会福祉施設等施設整備費補助金【国庫補助】（補助率：国1/2、市1/4） ・施設整備 2件 ② 障害者グループホーム整備促進事業補助金【市単独補助】 ・施設整備（国庫整備に併せて加算、補助率 10/10） 2件					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	重度障害者を受け入れるグループホームの整備を促進するため、グループホームの創設事業として国庫補助金の交付決定を受けた社会福祉法人等に対して、スプリンクラー設備等に係る経費を補助（補助率10/10） ① スプリンクラー設備及び非常用自家発電設備を設置する場合 10,000千円（上限） ② スプリンクラー設備を設置する場合 3,500千円（上限）					
9	主な支出先	堺市内の障害福祉サービス事業所 等					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標	単位		実績		目標	目標
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
11 補助金交付により、新たに増加したグループホームの定員数	人	目標値	—	—	—	—
		実績値	10	11		
		達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由		グループホームの利用者の増加を目的とする事業であるため。			
目標値の設定根拠・算出方法		事業の性質上、数値化した目標の設定は困難であるため、目標値の設定は行わない。				
活動指標	単位		実績		目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
12 グループホームの創設として、補助金を交付した件数	件	目標値	—	—	—	
		実績値	1	2		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		グループホームの利用者の増加を目的とする事業であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		事業の性質上、数値化した目標の設定は困難であるため、目標値の設定は行わない。				

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		障害者福祉施設整備補助				事業番号		011-133			
Ⅲ. 投入量											
事業コスト											
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）											
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			決算		決算		当初予算	決算	当初予算		
		事業費（a）	30,202		35,447		95,253		77,184	100,200	
		国支出金	19,000		21,297		52,434		45,420	53,900	
		府支出金	0		0		0		0	0	
		市債	8,900		11,200		34,000		25,200	36,900	
		その他（ ）	0		0		0		0	0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0	0	
		一般財源	2,302		2,950		8,819		6,564	9,400	
		14	人件費（b）	4,050		4,050		4,200		4,200	4,350
15	年間経費（c）=(a)+(b)	34,252		39,497		99,453		81,384	104,550		
事業費の内訳											
（単位：千円）											
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		障害者福祉施設整備補助金（国庫補助金を伴うもの）	R7	決算	68,130	4,710		R7	決算		
			R8	予算	80,850	5,450		R8	予算		
		障害者福祉施設整備補助金（市単独）	R7	決算	9,054	1,854		R7	決算		
			R8	予算	19,350	3,950		R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
		Ⅳ. 事業の効率性									
単位当たり経費											
17	区 分	単位			令和6年度		令和7年度				
	①	整備したグループホームの定員数			人	10	11				
	②	上記①にかかる年間経費			千円	39,497	81,384				
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	3,949,700	7,398,546				
	算出についての説明等										
Ⅴ. 評価											
費用対効果に係る所見											
18	単位当たり経費の基礎となる決算額については、補助事業の内容（創設、大規模修繕）や件数により、毎年変動することから、単位当たり経費も毎年増減している。 令和7年度は、重度重複障害者に対応する既存グループホーム1件の改修を行い、また、医療的ケアが必要な方を多数ケアできる体制を備えたグループホーム1件を新たに整備した。 重度障害者を受け入れるグループホームの整備が進むよう、市単独での補助を行っているが、これまでも市の負担を軽減するために補助基準額や補助率の見直しを行っており、妥当であると考える。										
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）										
19	本事業は、障害者の高齢化・重度化や家族など介護者の高齢化が進む中、グループホームの整備を促進することにより、障害者の地域生活への移行と生活基盤の確保を図るため、国庫補助による施設整備に併せて、整備加算の補助を行っている。 また、既存施設において外部給電設備及び蓄電設備やスプリンクラー整備等の大規模修繕を進めることにより、施設利用者の安全の確保を図っており、障害者の暮らしの場の確保に寄与している。										
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）										
20	必要性	■ 高い □ 低い	障害者の地域生活への移行と定着を推進する観点から、障害者グループホームの整備は極めて重要な施策である。しかしながら、グループホームの設置には建設費や改修費等の初期投資が大きく、特に中小規模の法人にとっては大きな負担となり、参入の障壁となっている。このため、施設等整備補助金を交付することは、こうした経済的負担を軽減し、新規参入や整備の促進を図るうえで必要不可欠である。								
	有効性	■ 高い □ 低い									